

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ふれあい

## 目標達成計画書

作成日: 平成 31 年 4 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	法人の理念と「五つの和」を見やすい場所に掲示しているが、共有に向けての取り組みが出来ていないので、改めて意識づけを行うことで原点に立ち返り、理念に基づいた介護サービスを目指していく。	朝の申し送り時や職員会議等で理念を唱和したり、理念に沿った介護サービスが提供出来ているかを振り返る機会を設けることで理念を共有し、職員が気持ちを一つに日々の介護に取り組んでいく。	12ヶ月
2	37	災害対策	年2回、防災訓練を実施しているが、非常災害に備えて、訓練を繰り返し実施して、いざという時に職員が冷静に対応できる体制を確立していく。	夜勤者を中心に、利用者を巻き込まずに職員同士で夜間想定訓練を頻繁に実施し、夜間帯の動きを身体で覚え、非常時に夜勤者が落ち着いて行動できるよう、取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。